

報道機関 各位

県内企業6社の社長と学生・大学職員が一堂に会する  
「データサイエンスによるソーシャルイノベーション実践演習」  
初回マッチング授業を実施

◆本件のポイント！

- ・県内企業6社の社長が参加する、実践性の高い授業
- ・学生×大学職員が共に学ぶ、全国的にも珍しい「協働型PBL」
- ・データサイエンスを用いて地域課題の「本質」を捉える教育プログラム

◆本件の概要

本学では、令和8年度前期に開講する全学共通教育科目「データサイエンスによるソーシャルイノベーション実践演習」（担当教員：瀬戸和希）において、4/15（水）の授業回を、参加企業・学生・大学職員による顔合わせの回として実施します。

本授業は、県内企業が抱える実際の課題を題材に、学生がデータサイエンスの知識を活用して課題の本質を見抜き、解決策を提案するProject-Based Learning (PBL) 型授業です。今年度は、学生に加え、キャリアアップの一環として本授業を聴講する本学職員も参加し、立場を越えた学びの場を形成します。

（授業詳細：[https://gkm2019-sy.shimane-u.ac.jp/syllabusHtml/2026/90/90\\_SGB6301\\_ja\\_JP.html](https://gkm2019-sy.shimane-u.ac.jp/syllabusHtml/2026/90/90_SGB6301_ja_JP.html)）

◆本件に関する写真

※イメージ写真です  
過去の類似授業の写真



◆概要内容

日時：2026年4月15日（水）16:50～18:30

場所：島根大学松江キャンパス（松江市西川津町1060）教養講義室棟2号館2階504教室

出席者：授業履修学生、授業聴講職員

授業担当教員 瀬戸 和希（数理・データサイエンス教育研究センター・副センター長）

協力企業：株式会社みしまや、カンドーフาร์ม株式会社、社会福祉法人豊心会、  
渡部印刷株式会社、株式会社なかたか、高橋産業株式会社

内容：学生は、企業経営者や社員と直接対話を行いながら、今後の企業マッチングやグループワークに向けた理解を深めます。授業を通じて、地域産業の現状や課題を「自分ごと」として捉えるとともに、データに基づく課題解決力、コミュニケーション力、表現力の向上を目指します。本学では、本授業を通じて、地域企業・学生・大学職員が協働する新しい学修モデルの構築を進めるとともに、地域に根ざした人材育成とソーシャルイノベーションの創出に貢献していきます。

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

総務部情報推進課長 宮脇貴子

Tel：0852-32-6120 e-mail：jsko-kacho[at]office.shimane-u.ac.jp

【添付資料： □あり（ 枚） ■なし】